

明日の中津川を見つめて 鈴木まさひこ市政報告

雅 夢

中津川市議会議員 鈴木 まさひこ

新図書館建設前になさねばならない 中津川市の大きな課題

中津川市の問題は、時代に逆行している市政運営にあります

ミックス事業の問題、福岡地区産業廃棄物の問題、新図書館建設の問題や、市民病院経営の問題等、あまりにも多くの問題を抱える私達の中津川市です。

多くの市民の皆さんが何かおかしいと思っておられるようですが、何がおかしいのでしょうか。そして、その原因は何であるとお考えでしょうか。

私は「市民から遊離の市政」に原因があると考えております。本来住民自治に移行しなければならないこの時期に、中津川市は、お役所の意志尊重という、まさに時代に逆行するような市政運営をしています。長い間、市政そのものが、国の出先機関的役割が大切にされ、住民として何の疑問もなく過ごして来ました。

しかし大きな変化の時が来ています。お役所の団体自治から、そこに住む住民の意志が中心となる住民自治重視の運営への移行です。

今こそ中津川市政を変えてゆかねばなりません。



鈴木まさひこは

廉恥・真勇・礼節

れんち しんゆう れいせつ

この言葉をモットーに、
自分自身に厳しく、恥かしくない道を
歩きたいと思います。

明日の中津川市のため、全てを注ぐことを約束します。

1. 市民病院の立て直しと老後施設の充実

市民病院の経営・運営悪化を国の責任であると、自らの責任を回避しようとするのは愚かなことです。議員として、視察・研修で自治体病院でも健全経営がなされている病院を見て学んできました。

国に責任を転嫁するだけでなく、市自らの責任において市民病院の立て直しを図っていきます。

また、老後、各種施設への入所が出来ないことに関して相談を受けることがあり、まだまだ、施設の数・質の不足を感じております。

二つの公立病院と個人病院との連携、老後施設との連携を図り、老後も安心して暮らせる中津川市に変えていきます。



自治体病院高知医療センター視察

中津川市民病院新病棟

2. 学校教育・放課後児童教育の充実

中津川市教育特別強化予算を設け、他市に先んじた施策により、子育て中の親が住みたいと思う市に変えていきます。

小中学校図書の実施、小中一貫教育の実施により中1ギャップの激減と基礎5科目の成績アップを図っていきます。

美術・音楽等芸術科目及び技術・家庭科等の教育においては、専門講師を当て、本質を教えらるる教育を実施し、子供たちのもてる「芽」を最大限伸ばす教育を図っていきます。

学校教育のみではなすことが難しい「底上げ教育」と「英才教育」のため、放課後児童教育の充実を図っていきます。

3. ミックス事業と汚泥処理

ミックス事業建設予定地苗木津戸地区を白紙撤回し再度検討します。

併せて、ミックス事業という方法が最良なのかどうかもう再検討し、環境センター問題（汚泥処理）を解決します。



ミックス事業・現地における抗議と反対署名提出

4. 新図書館の建設の凍結と 中心市街地の活性化

新図書館の建設は凍結し、中心市街地の活性化についてどのようにしたらよいのか、多くの市民の声を聞きながら方向性を決めていきます。

5. 新市の基盤整備と産業の充実

過去から計画されて未だに着工されていないが、新中津川市発展のために欠かせない「青木斧戸線」、「松源寺線」等都市計画道路及び合併市町村を結ぶ主要幹線道路の整備を合併特例債の使用出来る間に完成していきます。

遊休農地が急増しています。荒れた農地を農地として活用するためには、農業のみで終わるのではなく、生産物を加工し販売すること。更に、観光まで発展させていくことが大切です。

そうした農業改革をしていきます。また、岐阜県の林業振興・畜産振興と連携し中津川市の農林業を発展させます。

また、地元第2、3次産業が参入できる新たな分野の開拓を図ります。



鈴木まさひこ市政報告 2期目4年間の総括

雅夢

2011年4月 第11-4号

市政に臨む基本姿勢

学生時代の柔道、今も続けている茶道、いずれも、修行をする上で、心・技・気の進むべき各段階を示した教えとして「守」「破」「離」という言葉があります。

「守」とは、師に教えられたことを正しく守りつつ修行し、それをしっかりと身につけることをいいます。「破」とは、師に教えられしっかりと身につけたことを自らの特性に合うように修行し、自らの境地を見つけていくことをいいます。「離」とは、それらの段階を通過し、何物にもとらわれない境地をいいます。

二期目は、皆様方の多大なご支援ご指導ご鞭撻を賜りながら長年の懸案でありました「城山大橋の無料化」をはじめ、多くの要望が実現できました。しかし、同時に、中津川市の将来に向け、大きな不安を伴う課題が生じた四年間でもありました。

私にとりましては、「ミックス事業の問題」など、問題の核心と真実を適切に捉えられるか、更には、「真勇」の精神に基づき、議員として言うべきことをしっかりと発言できるかを試されているような大変厳しい日々であり、「守」から「破」へ一歩を踏み出す必要に迫られた時期でありました。

今後は、新たに生じた諸課題を、これまで築き上げた多くの経験や人脈を通じ、鈴木まさひこならではのよう解決していくのか。力量が求められ、更なる前進、すなわち「破」から「離」への三期目としなければならないと考えております。



長年の念願 城山大橋の無料化

四年間、教育問題に腰を据えて取り組みました

「一期目から重視してきた教育環境の改善に四年間取り組みました」

耐震化された体育館・学校施設の耐震化の促進や学童保育環境の改善も含め子供達に対する教育環境の改善に、腰を据えて取り組みました。

また、地域の安全と安心を守る消防施設及び器財を改善していくことができました。



耐震化された体育館



改修される第3部瀬戸詰め所

現状の問題点を打破するために 欠かせない議会改革の推進

鈴木まさひこ後援会会長 西尾 良司

市長以下職員はもっと市民の声に耳を傾けなくてはならないと思います。一部の人の声を聞くのではなく、広く多くの市民の声を聞いて行政を進める、まさしく住民自治の実践こそ大切なことです。

しかし、市長以下職員ができないとき、二元代表制と住民自治の意義を重視した市議会・市議会議員が必要になります。

残念ながら、現在の中津川市議会は、その域まで汲んでいないと思います。国会のように与党・野党というのではなく、愚直なまで市民・住民の声を議会を通じて代弁していくことが議員に与えられた使命だと思います。

次の市議会議員の選挙は、今後の中津川市の進む方向を左右する大切な選挙となります。

鈴木まさひこ君には、今までどおり、私たち多くの市民の声を市政の場にしっかりと届けてもらいたいと考えております。

長年手つかずの箇所、除々にではありますが改修しております

「狩宿川の改修」

苗木浄化センター建設時、改修の約束がございましたが、その後、何の対応もありませんでした。県議・県恵那土木事務所幹部をお迎えして、地元区長及び後援会長と共に状況を確認し改修を要望し改修がほんの一部ではありますでしたができました。



県議・県幹部と狩宿川視察



県議・県幹部と麦搗川視察

「広域農道の市道化と横断歩道の設置」

八幡から大牧に至る広域農道は通学時間帯、多くの通勤車両が猛スピードで走っております。児童・生徒を抱える親や家族にとって、不安を抱える一つでした。

八幡・大牧ともに横断歩道の設置ができました。



八幡・大牧地区横断歩道の設置視察

「県道田立線、瀬戸地区から坂下地区までの二車線化」

瀬戸地区の県道山口線は、戦後間もなく改修後、なかなか改修までにはいたっておりません。国道19号線の予備幹線道路として、坂下から瀬戸地区までの早期二車線化は必要であります。なかなか進みませんが、地権者の協力を得て、狭隘な道路の一部に待避所が出来ることになりました。



瀬戸地区道路拡幅整備

各地区の要望も着実に

「各地区の要望を地区会長さんとともに実現し得よう」

各地域には、河川の改修、道路の整備、街灯の設置等生活する上で、行政にやっていただきたいことが沢山あります。

地元区長さんとして連携して、そうした要望の一つでも実現し得よう取り組んでおります。



三郷区農業用水整備



18区道路路肩整備



18区用水水漏整備



本町区河川整備

総会・各種親睦活動。多くの皆様のご参加 ありがとうございました。

多くの御来賓をお迎えしての総会や親睦会の他、クリスマスパーティも試みた二期目でした。



京都先斗町鴨川をどりへバス旅行

苗木外からも多くの方にお越しいただき、総会・親睦会等を大いに盛り上げていただきました。来賓の佐藤正久参議院議員の講演には、感動し涙する方もみえました。

NHK「だんだん」妹の「のぞみ」さんの舞子姿を見て、鴨川をどりを思いだしていただいた方もおられたと思います。



佐藤正久参議院議員をお迎えして

鈴木まさひこ後援会

後援会会長 西尾 良司

〒508-0101 中津川市苗木本町 電話 (0573) 65-3098
Email: masayume@mua.biglobe.ne.jp